

ホームページには、ブラウザの「戻る」を利用してください。バックナンバーは申し訳ありませんが品切れです。

---

## 免疫化学測定法研究会年報 第3号 (1999) 目次

---

第3回(1998年)学術集会(1998年6月19日) 於 大阪大学銀杏会館3階阪急三和ホール  
プログラム

ワークショップ要旨

網野 信行 : 免疫化学測定法の進歩と臨床応用

市原 清志 : イムノアッセイの誤差要因と精度管理

鎌田智、嶋津和博 : 免疫測定自動化の現状と将来

宮井 繁 : 免疫化学測定法のマスキングへの応用

第3回シンポジウム(1998年11月6日) 於 工業技術院筑波研究センター共用講堂  
プログラム

講演要旨

宇田 泰三 : 免疫センサーと今後の課題

平田 芳樹 : 遺伝子的に合成した脂質結合抗体の動的挙動の観察

外山 滋 : SPR免疫センサーの高感度化のための表面設計

末永 智一 : 電気化学顕微鏡/ELISAシステムを用いた蛋白質の極微量・多項目検出

宮崎 仁誠 : 松下電器産業における免疫センサーの考え方

生物発光反応を検出に用いた生体成分の免疫化学的測定法

昭和大学薬学部 前田 昌子

全農における「免疫測定法を用いた残留農薬分析」のとりくみ

全国農業共同組合連合会 林 明子

第9回国際農薬化学会議(ICPC)に参加して

(財)残留農薬研究所 坂 真智子

アメリカにおける環境負荷物質のイムノアッセイの現状

(株)コスモ総合研究所 安井 義晶

News Digest

免疫化学測定法関連新聞記事情報(1998年)

事務局からのお知らせ

1999年第4回学術集会のご案内と一般講演演題募集のお知らせ

入会のご案内

免疫化学測定法研究会

会則・役員